

# JLEM News Letter Vol.43



## 第48回日本語教育方法研究会開催

発表 53 件 参加者 122 名  
第49回は筑波大学にて

2017年3月18日(土)、第48回日本語教育方法研究会が宮城教育大学(宮城県仙台市)で開催されました。高橋亜紀子先生、そして宮城教育大学の先生方、学生の皆さん、大変お世話になりました。

前日3月17日に運営委員会が開かれました。議事については、このレターの記事をご覧ください。

次回の第49回研究会は2017年9月16日に筑波大学(茨城県つくば市)において開かれます。会則の改訂に伴い、9月に関東地区での開催となります。みなさまふるってご参加ください。

**開催を終えて**  
**高橋 亜紀子**  
(宮城教育大学)

東日本大震災からちょうど6年目に、宮城教育大学で第48回研究会が開催できたことを大変うれしく思っています。今回は、発表件数が53件、参加者が122名と本当に多くの皆様に参加していただきました。本学のように日本語教育の専攻もない大学で研究会が開催できるのかと不安を感じていたのですが、会長、事務局、

運営委員、そして参加者の皆様のご協力を得て、盛会のうちに終えることができ、本当に感謝しております。

本学の元留学生の佐藤金枝さんの講話から、日本語教育に何ができるのかを皆様と考えることができたのは素晴らしい機会でした。災害はいつどこで起こるかわかりません。また、外国籍の住民の方が日本で自分らしく生活できるように支援していくことは、私たち日本語教育関係者の大きな役割だと感じました。

JLEMは来年度25周年を迎えるとのこと、さらなる発展を心よりお祈りしております。みなさま、ありがとうございました。

**次回開催にあたって**  
**加納 千恵子**  
(筑波大学)

第49回の研究会を筑波大学で開催いたします。日本語教育方法研究会(JLEM)の第1回目を1993年9月23日に本学の留学生センターにおいて開催してから24年、10年目の2002年にも本学で開催しましたが、本当に月日の経つのは早いものです。当時はまだ、つくばエクスプレスも開

通しておらず、筑波大学に来ていただくには常磐線の荒川沖駅あるいは土浦駅からローカルバスに乗るしかなく、陸の孤島と呼ばれていた時代でした。第1回研究会のプログラムを見返すと、東北大学に移られていた大坪一夫先生の基調講演があったり、当時はまだ珍しかった「ポスターディスカッション」の会場案内図(発表件数は15件でした!)があったり、なつかしさとともに、現在の研究会の盛況ぶりを思うと、感慨深いものがあります。

筑波大学のキャンパスはそれほど変わっていないと思いますが、留学生に対する日本語教育は、場所は変わらないものの、名称は留学生センターからグローバルコミュニケーション教育センター(CEGLOC)へと変わり、日本人学生への外国語教育や国語教育と同列に扱われるようになってつつあります。

研究会の歴史をなつかしみながら、新しい時代の課題と取り組んでいくために、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

## 第9回 JLEM 優秀賞

第48回研究会において、以下の発表が「優秀賞」及び「奨励賞」に選ばれました。優秀賞選考委員5名が  
1) 課題設定・検証の視点の独自性、

## 事務局よりご連絡

●会員管理システム登録情報の確認  
2015年10月にweb上での会員管理システム

<<https://secure.jlem-sg.org/>>が導入され、今まで郵送しておりましたニューズレター、発表申込案内、研究会プログラムなどの印刷物の発送は停止しております。皆様のお手元に届くのは会誌のみとなり、その他のお知らせ等は、

<[jlem-ml@jlem-sg.org](mailto:jlem-ml@jlem-sg.org)>からみなさまの登録 e-mail アドレスへ届けます。<[jlem-ml@jlem-sg.org](mailto:jlem-ml@jlem-sg.org)>が迷惑メールとならないよう、ご指定をお願いします。e-mail アドレスを変更する場合は、速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いします。

ご不明な点などありましたら、<[jlem-ml@jlem-sg.org](mailto:jlem-ml@jlem-sg.org)>までお問い合わせください。

●住所変更

JLEMでは、会員管理システムに登録された会員住所に会誌を郵送します。住所変更の場合は、速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いします。

(小河原義朗)

## その他ご連絡

○J-STAGE についてのお知らせ  
現在、J-STAGE では Vol. 23 No. 1 の書誌情報が公開されています。PDF へのアクセスが可能になるのは、今年の9月25日からです。また、Vol. 1

2) 教育実践・研究成果の発展性、  
3) ポスターの見やすさを基準とし、協議いたしました。

「優秀賞」

鎌田美千子(宇都宮大学)「主体的に考える力を重視した専門教育の試み—大学の日本語教育科目における文献講読からレポート課題まで—」

「奨励賞」

中村かおり(拓殖大学)・近藤裕子(大正大学)・向井留実子(東京大学)「大学初年次のレポート作成指導で引用をどう扱うか」

「優秀賞」の鎌田氏の研究は、日本語教員養成における継続的な授業実践についての報告です。文献講読を出発点として、最終課題であるレポート課題に至るプロセスにおいて教材作成や発表などを入れ込み、学習者が主体的に学ぶことをねらいとしました。授業開発の独自性、検証の妥当性が高く評価されました。

「奨励賞」の中村氏、近藤氏、向井氏による研究は、学習者が論文課題に取り組むうえで困難とされる引用の指導についての意欲的な試みです。今後、これまでの研究成果をもとに教材開発を目指していただくことを期待し、「奨励賞」を授与いたしました。

受賞者のポスターは本会のHPに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

(本郷 智子)

## 運営委員会報告

運営委員会は、研究会の前日の3月17日(金)に宮城教育大学におい

て開かれました。24名の運営委員のうち、13名の運営委員が参加し、参加できなかった委員からは委任状が提出されました。

今回の運営委員会で報告、審議されたことを、以下にご報告いたします。

①会員数

2017年3月12日現在の会員数は614人(国内590人、国外24人)になりました。

②今後の開催予定と第50回記念大会について

第49回研究会を2017年9月16日に筑波大学にて開催する。また、第50回記念大会を2018年3月に名古屋大学にて開催する。記念大会は研究会のあり方を捉え直す機会にする方向で検討する。大会企画は、企画・広報委員の俵山雄司委員、増田真理子委員が担当する。

③運営委員の異動について

2017年4月1日より、俵山雄司委員が編集(会誌)担当を退任し企画・広報担当委員へ、高橋亜紀子委員が情報管理委員を退任し会計担当へ異動する。

④メーリングリストによるイベント情報等の配信について

会員管理がWeb上のシステムに移行したことにより、メーリングリストにより会員への情報提供が可能となった。ただし、このメーリングリストは当面の間、本研究会に関わる情報を会員へ伝える目的で利用し、外部のイベント等の情報は配信しないこととした。

(衣川 隆生)

No.1 (1993) ~Vol.6 No.2 (1999) に関しては現在、J-STAGE で全文公開されています。これは CiNii から移行されたデータの一部です。残りのデータに関しても記事情報の確認を行い、6 月中にはすべて公開する予定です。

(寺嶋弘道)

### ご連絡先を お知らせください

下記の方々は当日入会をされた方ですが、入会手続きが済んでいませんので、JLEM日本語教育方法研究会 (<https://secure.jlem-sg.org/>) の

「入会申し込み」より、申し込み手続きをして下さい。

なお、下記の方々の中に、お知り合いの方がいらっしゃる方は、恐れ入りますが、お伝えいただけますよう、よろしくお願いいたします。

山方純子 鈴木聡子 藤田恭子  
(敬称略, 5月15日現在)

#### ●会費納入について

会費は8月31日までにお支払いくださいますようお願いいたします。その日を過ぎますと、別途会誌を発送する必要が生じるため、お手元に会誌が届くのが遅れる可能性があります。ぜひお早めに会費納入を願

います。

また、会費をお振り込みいただいた方で、以下の方のお名前が会員名簿で確認できておりません。お心当たりの方は事務局までお知らせください。

2015/09/16 日付け 3000 円  
振込み 「ナカヤマ エイジ」  
(敬称略, 5月15日現在)  
(長谷川守寿)

日本語教育方法研究会  
問い合わせ先: [jlem-ml@jlem-sg.org](mailto:jlem-ml@jlem-sg.org)  
(レター編集: 本郷智子)